

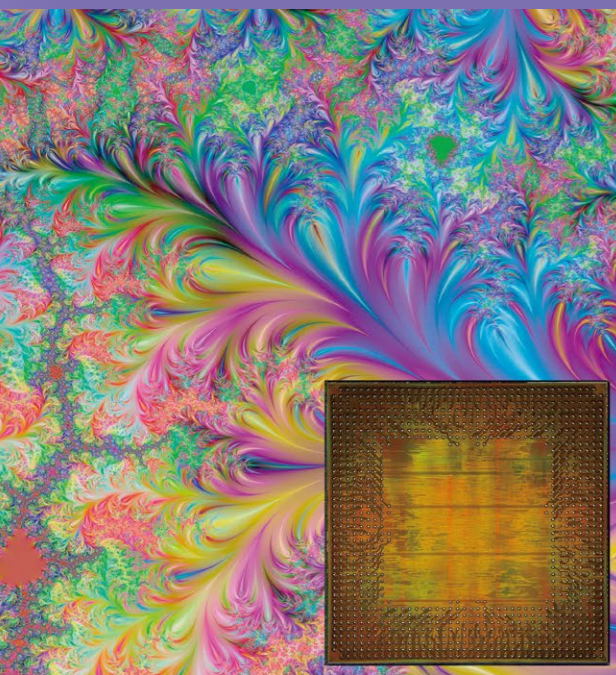
# 情報工学科

Department of Information and Computer Science

学科定員: 88名

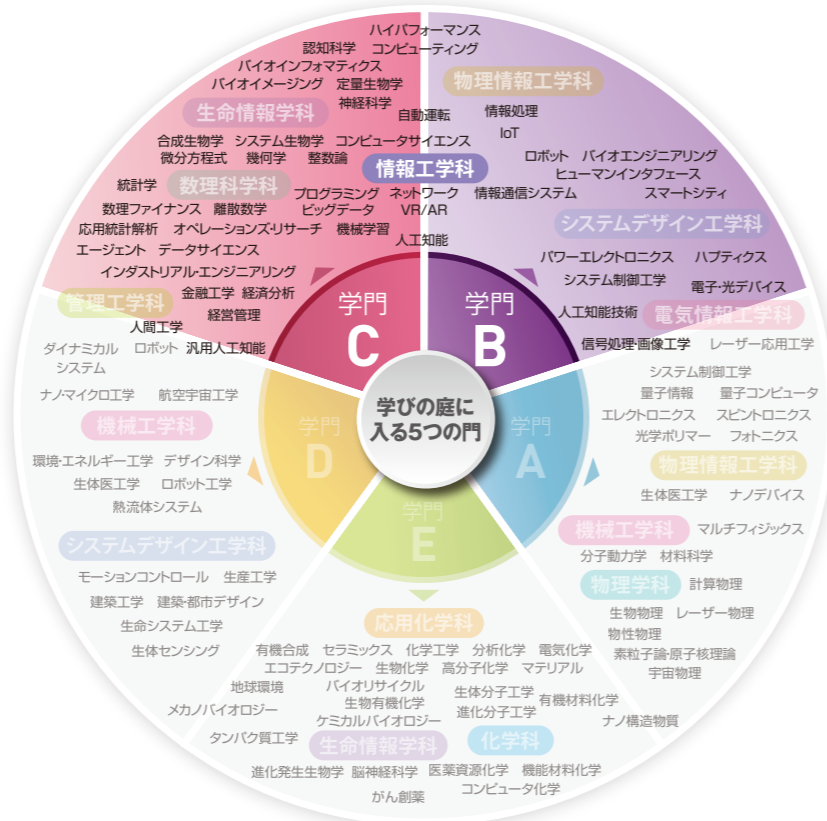
学門B・学門Cから進級できます

<http://www.ics.keio.ac.jp/>



## 情報通信の技術とその未来を正しく理解し 世界をリードする先端技術者を養成する

情報工学とは情報の力を工学的に利用するための分野です。コンピュータ科学、メディア工学、通信工学を「情報」の観点から融合的に扱う工学分野で、情報工学科では情報の発生、獲得、伝達、蓄積、処理、表示などにわたる学術の発展と人材の育成を通じて、社会に貢献することを目指しています。



### 多方面にわたる研究分野の網羅

情報工学科の研究分野は非常に多岐にわたることが特徴です。一例を挙げると、計算機アーキテクチャ、通信/ネットワーク・アーキテクチャ、セキュリティ、システムソフトウェア、ソフトウェア工学、組込みシステム、ユビキタスシステム、メディア情報処理、人工知能、ユーザインタフェース、ヒューマンコンピュータインタラクションなどのさまざまな研究分野があります。

### 情報を中心に、基礎学問と応用分野の連携

2040年における社会のリーダーを育てることを目標に、そのためのアプローチとして「多様化の許容」「流動性の確保」、そして「連携」をキーワードとした教育を行っています。また、これからのリーダーに求められる資質として、しっかりした基礎学力の上に専門を身につけ、国際的かつ広い視野で周りの技術を貪欲に取り込むことができる人材の育成を目指します。

### 必修はプログラミングのみで幅広い科目選択が可能

さまざまな技術の複合体である現在のIT製品を理解するにはコンピュータ、通信、情報メディアの3つの分野すべてをカバーする必要があります。情報工学科のカリキュラムは、これら分野の基礎から応用までがバランスよく習得できるように作られています。なお第2・第3学年では徹底した基礎教育により、情報技術者としての生涯に役立つ地道な土台作りから始めます。

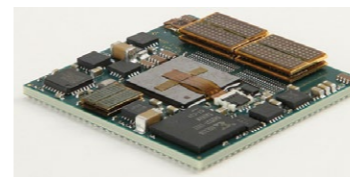
## 進級・卒業・進路について

2018年3月

1年次	2~4年次	学部卒業後	修士課程修了後
学門A	学門Bから進級 約40%	就職 13%	株式会社IH ..... 1名 アクセンチュア株式会社 ..... 1名 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ ..... 6名 ソニー株式会社 ..... 6名 ソフトバンク株式会社 ..... 3名 トヨタ自動車株式会社 ..... 2名 日本アイ・ビー・エム株式会社 ..... 2名 ゴールドマン・サックス証券株式会社 ..... 1名 株式会社セールスフォース・ドットコム ..... 1名 日本放送協会 ..... 1名 任天堂株式会社 ..... 1名 ヤフー株式会社 ..... 1名 その他 ..... 43社58名
学門B			
学門C	学門Cから進級 約60%	大学院 修士課程進学 85%	博士進学 8% その他(留学、資格試験準備など) 6%
学門D			
学門E		その他(留学、資格試験準備など) 2%	大学院博士課程進学

## どんなことが勉強できるの？

コンピュータの基礎技術を学び  
情報社会への新しい役割を創造



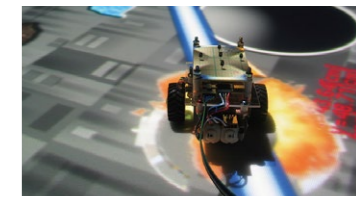
いまや、ありとあらゆる機器にコンピュータが内蔵され、コンピュータなくして社会基盤を形成することはできません。また、新しいデジタル機器やネットワークサービスが次々と登場しており、社会を取り巻く環境は刻一刻と変化しています。情報工学科ではコンピュータ技術の「おおもと」を押さえるだけでなく、新技術・新分野を開拓することで、変化の激しい情報社会における創造をテーマに研究を行っています。

通信技術の広範な応用と  
connected時代のネットワークの研究



現代社会では、通信はなくてはならない社会基盤の1つといえます。これらは、人と人の情報のやりとりだけでなく、モノと人、モノとモノとの情報のやりとりも担っており、切れることなく、超大容量のデータを高速に伝送することが求められています。情報工学科では、社会基盤としての通信を支えるために、光通信やモバイル通信、インターネットについて研究しており、世界をリードする成果を次々と挙げています。

多様化するメディアに適した  
情報技術の提供



音や文字や絵といった「メディア」を取り扱う科学技術は、コンピュータとともに大きな躍進を遂げ、人と人とどまらず情報伝達にさまざまな相互作用をもたらしています。また同時に、情報工学で取り扱う範囲も触感や匂い、さらには感情に至るまで広がっています。情報工学科では、この「メディア」技術を重要な基礎要素の柱と考え、情報の担い手となる多様な「メディア」を扱う基盤技術について研究しています。

## 学びのキーワード

- 人工知能
- コンピュータグラフィックス
- コンピュータビジョン
- バーチャルリアリティ
- ユーザインタフェース
- インターネット
- 光ネットワーク
- 無線通信
- 情報ネットワーク
- 分散システム
- 計算機システム
- ソフトウェア工学
- システムソフトウェア
- ビッグデータ処理
- データベース

